

12-1 放射線に関すること

■南相馬市の放射線量は、除染や雨風などの自然現象によって少なくなっていますが、市民の不安はまだ少なくありません。

市では、今後も放射線に関するモニタリングを行うとともに、講演会や座談会を開いて放射線に対する正しい情報の提供を行っていきます。団体・グループ等で専門家の話を聞きたいときは、お気軽にお申し込みください。

申込先：健康づくり課放射線健康係 0244-44-2121

また、平成27年9月から放射線に関する不安・疑問についてお応えする「放射線健康相談員」を配置しています。不安なこと、疑問なことがありましたら、お気軽にご相談ください。

相談専用ダイヤル 0244-44-2122
(健康づくり課放射線健康係内)

受付時間 9時～17時15分

これまでに寄せられた
放射線に関する
質問！



Q 人工放射線と自然放射線とで人体への影響に違いがありますか？

A 放射性物質には、今回の事故で放出されたセシウムなどの人工放射性物質とカリウムや炭素などの自然界に存在する自然放射性物質があります。どちらも、放射線を放出するという点では同じですので、人工か自然かの違いで、人体への影響が変わることはありません。人体への影響は、放射線の「量」が問題になります。

Q ミネラルウォーターを購入して飲んでいますが、水道水は大丈夫ですか？

A 市の水道水は、処理工程を通して安全な水を提供しています。また市では週に3回、放射性物質の測定を行っており、この測定で放射性セシウムは検出されていません。安心してご利用ください。

12-2 放射線に関すること

Q 井戸水を使用していますが大丈夫ですか？

A 放射性セシウムは、土の粒子に吸着しやすい性質があり、吸着したセシウムは土の表層にとどまっていることが分かっています。市では、井戸水の測定を行っており、ほとんどの井戸水から放射性物質は検出されていません。ただ、水が濁った場合は、土に吸着したセシウムが混じる可能性がありますので、注意が必要です。ご心配の方は測定をおすすめします。

Q お店で買う食品には、線量が明記されていませんが大丈夫ですか？

A スーパー・商店などで販売している食品は、放射性物質の検査を受けた商品です。流通している食品は基準値未満ですので大丈夫です。

Q 南相馬市で赤ちゃんを産んでも大丈夫ですか？

(子どもが里帰り出産を希望していますが不安です。)

A 普通に暮らしていれば、全く問題ありません。妊娠期間中に100mSvを超えるような大量の放射線を浴びなければ心配ありません。

Q 0歳～3歳以下の子どもたちを外で遊ばせて本当に大丈夫ですか？

A 現在の空間線量率から見て、外で1日中遊んでも心配されるほどの被ばくをする状況ではありません。運動不足による肥満化にも注意が必要です。外で元気に遊ばせることも大切です。

Q 子どもが外で遊ぶ時間に制限は必要でしょうか？

A 現在は、制限する必要はありません。日頃から、外で遊んだあとはよく手を洗い、うがいをするなどの習慣を身に着けておくことで、なお安心できると思います。

